



21世紀は環境の世紀とも言われ、テクノロジーの進展と経済の成長を背景とした「大量生産、大量消費、大量廃棄」型社会から、様々な社会活動と環境との秩序ある調和を図る「循環型社会」への移行が本格的に始まってきております。

FDKグループは、そのような社会の一員であるばかりではなく、製造業に携わる者として、我々の事業活動が地球環境と密接に関わっていることを深く認識し、事業活動のすべての領域で環境問題に積極的に取り組むことが社会的責任であると考えております。

このような認識のもと、FDKグループは環境問題に取り組む全社的な体制を整えるため、1992年2月に環境保護推進部を設置いたしました。更に1994年には環境保護の基本方針である「環境憲章」を制定し、「FDKグループは自然を愛します かぎりある地球のために」をスローガンに積極的な活動を進めてまいりました。

現在は、「第二期環境行動計画」のもと、環境管理の国際規格であるISO14001の認証取得をはじめ、環境に配慮した企業行動、製品の開発等の具体的な施策をFDKグループ全体として取り組んでおります。ISO14001に関しては、国内では全ての生産拠点（7工場）で認証を取得しており、海外でも5工場で認証を取得し活動しております。

今後も更に、資源の有効活用、省エネルギー対策、グリーン調達など地球環境にやさしい製品づくりを進め、FDKグループの事業すべての領域で環境負荷の低減と循環型社会の形成に向け、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

本報告書は2000年度の活動状況の内容と成果をまとめたものです。

この報告書を通して、FDKグループの環境保全への取り組み、姿勢、活動の一端をご理解いただき、忌憚ないご意見をいただければ幸いに存じます。

FDK株式会社  
代表取締役社長

鈴木 堆司